

2018.10

vol. **51**  
秋号

# かろうさい 版

## 特集

- ◆ **脳血管病：突然おそう脳の病気** P2・3  
～脳卒中治療最前線～
- ◆ フォーカスインタビュー  
外科医師 **笠原 里紗** P4
- ◆ 連携登録医のご紹介  
「中谷歯科医院」院長 **中谷 洋司** P5
- ◆ **がん化学療法看護認定看護師とは？** P6
- ◆ **治療就労両立支援部** P7
- ◆ **土曜脳ドックのご案内** P7
- ◆ **MRI装置更新します** P7
- ◆ **ピンクリボンキャンペーン** P8

### 基本方針

1. 安全で質の高い医療を実践します。
2. 患者さんの権利を尊重し、十分な説明と同意に基づく医療を実践します。
3. 透明性の高い医療を実践します。
4. 地域住民と勤労者の健康づくりのために、予防医療を実践します。

### 臨床倫理方針

1. 患者さんの人権を守ります。
2. 患者さんの自己決定権を尊重します。
3. 生命倫理に関する法律及びガイドラインを遵守し診療を行います。
4. 患者さんの信条や生命の尊厳に関する問題については審議を行い、治療方針を決定します。
5. 患者さんのプライバシーを遵守し、個人情報の保護を徹底します。

### 鉏路ろうさい病院の理念

最新の知識と技術に基づき、良質で信頼される医療を実践します。

治療開始が重要。  
脳卒中は早期発見と



特集

## 脳血管病:突然おそう脳の病気 ～脳卒中治療最前線～

釧路労災病院 脳神経外科部長

いとう まさき  
伊東 雅基

日本脳神経外科学会認定専門医・日本脳卒中学会認定専門医  
北海道大学大学院医学研究科 脳神経外科 客員研究員

### 1.脳卒中の予防と治療

脳卒中は、脳の血管が詰まる(脳梗塞)・血管が切れる(脳出血やくも膜下出血)ことで起こる脳の病気です。予兆なく突然脳を襲う病気で、**真の意味で発病するタイミングを予測することは難しいのが現状**です。発病すると、手足がマヒして歩けなくなったり、物をつかめなくなったり、言葉が喋れなくなったりします。**脳血管疾患**とも呼ばれ、重症の場合には寝たきりや死亡につながる重大な病気です(図1)。我が国では、脳卒中予防と治療技術の発達によりグラフの通り脳血管疾患による死亡率は劇的に減少しましたが患者さんの数はむしろ増えていると言われています。

脳卒中は**予防が大事**です。生活習慣・内科的な予防治療管理がとても重要であることは、グラフ(歴史)が示しています。脳卒中ガイドライン2015(日本脳卒中学会 編)では、高血圧・糖尿病・脂質異常症・心房細動(不整脈)・喫煙・飲酒・炎症マーカーといった危険

因子の管理の重要性を掲げられています。睡眠時無呼吸症候群・メタボリックシンドローム(太すぎるウェストと、異常な血圧・血糖値・中性脂肪値)・慢性腎臓病をもつ方は、脳卒中ハイリスクですから、特に脳卒中に気をつける必要があります。外科的に脳卒中を起こす前に予防治療可能な脳血管病もあります(未破裂脳動脈瘤・頸動脈狭窄症)。

残念ながらそうはいつでも、現在の医学レベルではやはり個人個人の患者さんが、**実際にいつどういうタイミングで脳卒中を起こすかは予測できません**。予防で対応しきれないから、**早期発見と治療開始が重要**です。釧路労災病院脳神経外科では、脳卒中即応治療体制を整え、いつでも対応できるよう備えています。キーワードは、**発症から4時間半以内、これを過ぎたとしてもできるだけ早く**です。診察検査をして回復可能性があれば、脳血管再開通治療(tPA静注療法・血栓回収カテーテル治療)や脳動脈瘤根治術(クリッピング

手術・コイル塞栓術)、頭蓋内血腫除去手術(開頭手術や内視鏡手術)で治療します(図2)。

脳卒中治療で忘れてはならない重要な治療は、**早期リハビリ**です。残念ながら上記の治療法はあくまで脳卒中による脳被害を最低限度に抑えるためのものであって、発生した脳神経障害を治すものではありません。限られています。脳神経外科病棟看護スタッフ、理学療法士(歩く・移動する)・作業療法士(手作業・生活作業)・言語療法士(呂律と飲み込み)といった分野別リハビリ専門スタッフが**可能な限り急性期からの体調ケアとリハビリ治療開始に取り組んでいます**。リハビリには時間がかかります。釧路地域の問題点は回復期リハビリ病院の不足です。我々が得意とする、急性期の脳卒中治療・リハビリ治療を開始しても(最初の半月~1ヶ月程度)、これを引き継ぐ真の意味の回復期を担ってくれる回復期リハビリ病院が不足しています。行政や地域の仕組み・枠組みを変えていかなければなりません。そのような意味でも**脳卒中を予防する・発症しても早期治療で被害を最小限に食い止める**のが、今の我々にできる人事と考え尽くしています。

## 2.脳神経外科疾患アラカルト

脳の病気はもちろん脳卒中だけではなくありません。足腰や手足のしびれなど日々の健康生活を送るのをはばむ腕・足腰・お尻の末梢神経疾患、脊髄疾患、脳の怪我・脳腫瘍・顔面の痙攣や痛み、てんかん/ケイレンの治療などです。これらの病気は一刻を争うと言うより、じっくりと診断治療を行うたぐいのものです。

## 3.最後に地域の皆さんへ

釧路労災病院脳神経外科では、**2018年8月現在**、脳・脊髄外科センター部門と末梢神経外科センター部門がタッグを組んで、脳神経外科医師6名体制と、外来病棟看護スタッフ・脳血管リハビリスタッフ・専門知識を勉強している事務職員スタッフでチーム対応しています。脳と神経からくる病気と症状全般を外科的側面から診断し治療していますが、症状だけでも、山のように多岐に渡りますので、ここでは書ききれません。ご心配なことがあれば、まずは外来までご相談ください。不定期ですが市民公開講座の機会もどうぞご利用ください。

(ホームページ:<http://www.kushiroh.johas.go.jp/medical/10.html>)

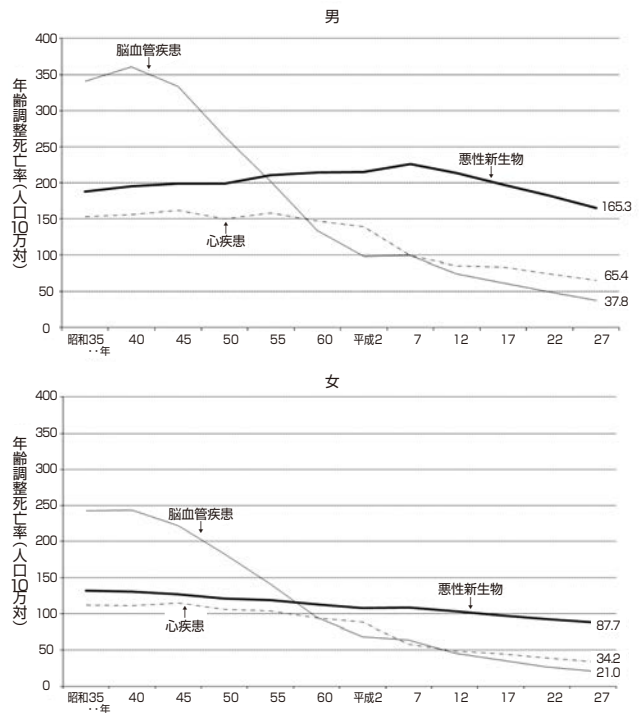


図1:最新の日本人の脳卒中(脳血管疾患)による死亡率推移 (昭和35(1960)年~平成27(2015)年-55年間。厚生労働省)



図2:脳卒中中の治療最前線

気になるあの先生に聞いてみました!

# フォーカスQ インタビュー

外科医師 **笠原 里紗**  
かさはら りさ

## PROFILE

2014年 秋田大学医学部卒業  
同年 日鋼記念病院初期臨床研修医  
2016年 北海道大学 乳腺外科  
2018年 釧路労災病院外科 現職



## Q1 医師になった動機を聞かせてください!

幼少期、祖母が小児科の開業医をしていました。仕事と家庭を両立し、朗らかにやさしく患者と接する祖母をみてあこがれを覚え、医師を志しました。現在は外科一般を診療していますが、当院赴任前は乳腺外科で乳癌診療を中心に行っていました。外科的要素・内科的要素のどちらも行うことのできることに魅力を感じて乳癌診療に興味を持ちました。

## Q2 座右の銘を教えてください!

座右の銘といえるほどの言葉はありません。患者さんの価値観を尊重し、気持ちに寄り添いながら共に治療を頑張れる関係でありたいと考えています。

## Q3 専門分野について聞かせてください!

乳腺外科では、生検や手術、化学療法や内分泌療法などの薬物療法に加え、乳がん検診や終末期医療と乳癌に関わる診療を幅広く行います。

釧路に赴任してから進行乳癌の方が多いように感じます。家庭や仕事に多忙でなかなか受診できず、乳房

のしこりに気がついてから数年が経過している、とお話しされます。早期発見できれば、治療により長期の生存も期待できる可能性が高いといわれており、しこりや胸の異変に気付いた時点で治療を開始できていたらと思わずにはられません。

また、乳癌診療は他科やコメディカルと連携しながら診療を行うことが多くあります。早期乳癌であれば、手術前後に放射線科や形成外科、歯科口腔外科に診察いただくことがあります。再発や遠隔転移を伴う進行乳癌は全身のありとあらゆる部位に転移を来す可能性があります。骨転移や脳転移を来せば整形外科や脳神経外科など様々な診療科に診察、治療をお願いします。当院は各科にご協力いただき診療に当たれる環境で、大変ありがたく感じています。

乳癌は、女性が最も罹患しやすい悪性腫瘍で、年々罹患者は増え続けています。社会生活で中心的役割を担う世代である40代～60代の女性に発症する癌です。早期乳癌でも転移・再発乳癌でも、年単位で治療を行う必要があり、発症後も仕事・家庭生活を営みながら、治療を続けます。日常生活を維持しながら一人ひとりに適した治療を行っていかれたらと考えています。



## 連携登録医の ご紹介



「中谷歯科医院」院長  
なかに ようじ  
中谷 洋司

### 先生のモットーをお聞かせください。

当院は子供から高齢者まで、あらゆる方々の歯と口の健康をサポートすることを目指しています。患者さんの立場になって症状や希望をよく聞いて診察をします。そして、十分な説明と同意の上、できるだけ痛みや不安の無い、良質かつ適切な治療を心がけています。又、歯をできるだけ残す為にむし歯と歯周病の予防に取り組み、仮に歯を失ってしまった場合はブリッジや入れ歯、インプラント、審美歯科などの治療を提供します。更に、専門的な治療が必要な場合は専門医に紹介して、患者さんにとって最適な治療を安心して受けられる環境を整えています。

### 当院へのメッセージをお願いします。

地域医療連携で、いつも大変お世話になっております。特に口腔外科の先生方にはいつも迅速な対応と質の高い診療を行って頂いて感謝しております。患者さんにとっても大きな安心と信頼につながります。今後ともよろしく願いいたします。

### 貴院の特色やPR点をお教えてください。

昭和57年に現在の地に開業して36年間、地域のかかりつけ医として歯科医療の提供を続けてきました。これからも変わらず地域に貢献できるよう努めてまいります。一般歯科や小児・矯正歯科をはじめ、インプラント、審美歯科、訪問診療など患者さんのあらゆるニーズにお応えできる環境を整えております。又、むし歯や歯周病予防の為に定期検診やメンテナンスをして、歯と口の病気の早期発見・早期治療に努めています。更に、北海道 障がい者歯科医療協力医としてお体の不自由な方には車椅子の上の治療や訪問診療にも対応しています。そして院内感染のリスクを最小限に抑えるために滅菌・消毒の徹底をしていますので、安心して治療を受けて頂けます。歯やお口の事でお悩みの方はぜひ一度ご相談いらしてください。

### 患者さんへのメッセージをお願いします!

歯と口のことなら何でもご相談ください。むし歯・歯槽膿漏・ブリッジ・入れ歯等の一般歯科・小児歯科・矯正歯科をはじめ、定期検診・インプラント・審美歯科・訪問診療等の様々な治療に対応しています。又、急患は随時受付しています。皆様のご来院をスタッフ一同明るい笑顔でお待ちしております。

連携登録医

## 医療法人社団 中谷歯科医院

〒085-0006 釧路市双葉町12-20  
☎0154-25-5777

診察時間

午前9:00~12:30  
午後2:00~6:00[月~金]  
午前9:00~12:00[土]

休診日

曜日、祝日



がん化学療法看護  
認定看護師

むらやま ゆかこ  
村山 由佳子

# がん化学療法看護認定 看護師とは？

当院の化学療法センターは、リクライニングチェア8床、ベッド8床の計16床あり、うち個室が2室あります。



患者数は増加傾向で、現在は350～400件/月の抗がん剤投与を行っています。治療は、30分程度の治療から6時間程度かかる治療まであり、自宅で家事をしながら、仕事をしながら多くの患者さんが通院されています。また、釧路市内のみならず、根室管内など遠方から通院されてくる方もいらっしゃいます。患者さんやご家族が自宅での体調悪化や心配なことがあった際には、すぐに相談できる窓口として化学療法センターに連絡を頂き対応できることをご説明しております。通院治療中の患者さんにとっての不安を速やかに解決できることをセンターとして大切にしております。

私は、がん化学療法看護認定看護師として、化学療法センターで勤務し、がんの診断や治療開始時、または再発時などの場面で、医師からの説明を受ける際に、患者さんやご家族が理解出来るよう、納得して意思決定ができるような支援をさせていただいております。抗がん剤治療は、がんの根治、延命、症状の緩和など目的があります。その治療には、期待する効果だけではなく、副作用というものがついてきます。抗がん剤

の種類はとて多く、副作用も薬剤に応じ違いがあり、患者さんが不安になるところだと思います。その副作用についてわかりやすく説明し、自宅での生活にどのような影響があるのか、どう対処していくとよいのかを患者さん、ご家族へ説明をしています。抗がん剤治療というと、髪の毛が抜けて、吐いて…といったイメージを強くもたれているかたはまだ多いです。すべての薬剤がそのようになるわけではないこと、実際にいつ頃にどんな副作用が起こるのか、具体的にお伝えし、少しでも不安なく治療に望めるような関わりを行っています。また、抗がん剤治療は、身体面だけではなく、精神的にもつらい気持ちになったり不安な気持ちになったりもします。そのような患者さんやご家族のお話を聞き、気持ちを和らげられるような対応にも心がけております。

院内には、がん看護分野の認定看護師や専門看護師が他にもいるので、相談し連携して対応しています。また、医師や薬剤師とカンファレンスを定期的に行い、化学療法を安全に安心して、そして安楽な状態で受けられるように共働して取り組んでいます。



外来・入院問わず、がん化学療法看護についての相談がありましたら、外来・病棟の看護師や地域連携センターの職員に伝えていただければ、お話を伺いに参りますので、ぜひご活用ください。

# 治療就労両立支援部

「病気になっても働き続けたい」  
そんな働く人の気持ちを応援します！

## 治療就労両立支援モデル事業

平成26年から労災病院全体で、勤労者医療の新たな取り組みとして始めており、当院はがん罹患者の治療就労両立支援モデル事業に参加しています。

## 「治療就労両立支援モデル事業」とは？

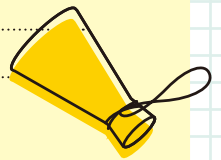
がん・糖尿病・脳卒中の罹患者及びメンタル不調者に対し休業等からの職場復帰や治療と就労の両立支援への取り組みを行い、事例を集積し、医療機関向けのマニュアルの作成・普及を行う事業のことです。

## 両立支援相談窓口(無料)

治療と就労の相談を希望される方は、両立支援窓口を設けておりますので、ご利用ください

場 所	地域医療総合センター(1階) ※相談専用の個室あり
時 間	午後1時～5時(月～金)
対象者	当院に関わらず、がん等で治療中の方やご家族、事業場の担当者の方
対応者	両立支援促進員(医療ソーシャルワーカー)
連絡先	0154-22-7191(代)

※「時間」「連絡先」:土・日・祝日・年末年始(12/29～1/3)を除く。



土 曜

## 脳ドックの ご案内



当院では毎月第3土曜日にMRIと血圧測定を行う「土曜脳ドック」を行っています。平日に検診を受けられない方も、週末のお休みの日を利用して受診していただけるのでおすすめです。検査所要時間もおおむね30分程度、料金は23,000円(税込)と通常の脳ドックよりも短時間、低料金となっています。疾病の早期発見、予防に努めるためにも、この機会に受診してみたいはいかがでしょうか。

## 実施概要

実施日	毎月第3土曜日
検診時間	8:30～12:00
実施人数	1日7名 ※検査所要時間約30分
検診項目	MRI、血圧測定
料 金	23,000円(税込)
お問合せ	釧路労災病院 医事課 外来係
電 話	(0154) 22-7191 (内線2107)
電話受付時間	8:15～17:00(土・日・祝日、年末年始を除く)

URL <http://kushiroh.johas.go.jp>

## MRI装置

更新します



MRIはMagnetic Resonance Imaging(磁気共鳴画像)の頭文字をとった略語で、磁場を利用して体内の様子を画像化するものです。人体のあらゆる方向の断面の画像を得ることができます。今回導入される「デジタルMRI」の主な特徴は、高速撮影法による検査時間の短縮や高精細な画像が得られるため微小な病変も見つけやすくなります。装置特有の「音」についても静かに感じられ、快適な環境で検査を受けられます。また、血液の流れなどを確認する検査では、造影剤を使用しないで行うことが可能となりますので、身体への負担が少なくなります。MRI装置は放射線を使わず強い磁力と電波を使用し撮影するため、放射線被爆がない安全な装置です。装置の稼働についてはホームページでお知らせいたしますので、今しばらくお待ち下さい。

# ピンクリボンキャンペーン

Pink Ribbon

ピンクリボンキャンペーンは、地域の人々に乳がんの早期発見・早期治療の重要性を啓発、推進する取り組みとして、ピンクリボン啓発活動及びマンモグラフィサンデー(乳がん検診)を開催いたします。

## ピンクリボン 啓発活動

**日時** 平成30年10月13日(土) 10:30~12:30

**会場** イオン釧路店 1階光の広場

当院乳腺専門医(小笠原副院長)による相談コーナー(10:30~11:30)  
乳房自己検診リーフレット配布、検診モデルを使った触診方法  
パネル展を活用した乳がんの知識の普及、検診の必要性や自己検診法、  
マンモグラフィ検診などを説明する。

## マンモグラフィ サンデー (乳がん検診)

**日時** 平成30年11月11日(日) 8:30~12:00

**対象** 一般市民 30名要予約 ※放射線技師は女性が対応します。

お問い合わせ/釧路労災病院 医事課外来係 22-7191(内線2107)

一般市民向け

今後のイベント開催予定

## 緩和ケア市民公開講座

**日時** 11月10日(土) 14時~16時

**場所** 釧路労災病院 3階講堂

**対象** 患者、患者家族、地域住民


**対象** 講演会、関連グッズの展示・試供品の提供等

編集  
後記

朝晩涼しく(寒く)感じるようになってきました。これからは秋の味覚が楽しみな時期となります。美味しいものをたくさん食べて秋を満喫しましょう。(編集長H)



独立行政法人労働者健康安全機構

 釧路ろうさい病院

〒085-8533 釧路市中園町13番23号

TEL/0154-22-7191(代表) FAX/0154-25-7308

地域医療連携総合センター

TEL/0154-32-3436(直通)

<http://kushiroh.johas.go.jp/>

くしろろうさいびょういん 検索

